

RCCM講習会開催報告

研修委員会

研修委員会では今年度RCCM資格試験のための事前講習会を行いました。RCCMの講習は初めての試みであるのでプログラムに記載してあるように、講習経験があり且つ答案の採点経験のある方々を講師としてお願いしました。



準備は4月に計画が決まり、アンケートを5月～6月にかけて収集して参加希望人数を調べた。その結果67名とかなり多かったが、実際の参加者は申し込み40名に対して31名の出席者であった。

RCCM講習会プログラム

挨拶 10:00～10:05 研修委員会委員長 和島 実

1. RCCM制度の概要、新しい入札契約制度との関連及び試験の動向

10:05～10:50 (株)復建技術コンサルタント

取締役社長 吉川 謙造

- ① 資格制度の概要
- ② 資格試験の概要
- ③ 受験のための概要
- ④ その他

2. 専門分野毎のキーワード講義記述(経験)論文書き方のポイント

10:50～12:10 (株)復建技術コンサルタント

設計二部副部長 佐藤 泰法

(株)仙台技術サービス

取締役 技術部長 伊藤 賢一

3. 模 擬 テ ス ト 13:00~16:00

- ・ 論 文 添 削 (個別指導) 13:00~15:00 (経験論文)
- ・ 模 擬 テ ス ト 15:00~16:00 (管理技術力)
- ・ 論文評価、添削 //

・ プログラム1のRCCM制度の概要、試験制度及び今後のあり方について、吉川社長に分かりやすく解説していただきました。

・ プログラム2で、伊藤さんは経験論文の書き方についてのポイントと細部にわたる注意事項をOHPを使用してお話していただきました。この問題は答案用紙に設問事項が印刷され文字数が決まっているので、実際の試験場では絶対に字数のオーバーには気をつけるようにとのことでした。逆に項目が設定され文字数が決まっているので書き易いメリットもある。

・ 佐藤さんの管理技術力を問う問題Ⅲを、採点者の立場で話していただきました。この問題はRCCMのテキストの設問事項に関する部分を良く熟読しておけば殆ど記述出来る問題だそうです。毎年同じような設問があるサイクルで必ず出題されるとか、必要なキーワードなど実際に即した内容であったので、受講者にとってはかなり参考になったものと思います。

・ 午後からは講師の方々と研修委員会の全員で予め送付してもらった経験論文に対する添削を個人毎に行い、当日書いてもらった管理技術に関する答案を添削した。



参加したみなさんの本番での健闘を願って

おります。